



小鳥が空を飛んで植えた木
縁起の良い“万両”の実

【三穂友の会】の皆様、新年おめでとう
ございます。昨年は弊社の移転に伴い
お便りをお送りできず誠に申し訳ござ
いまして。昨年元旦に能登地方
で大地震が発生し未だ復興の課題が沢
山残っている報道には胸が痛みます。
その後各地で地震が発生し防災に対す
る関心が高まっています。日本は地震
から逃れられない為なのか、古来より
伝わった日本の伝統の中にも、どこか
地震との繋がりが感じられる物あり
ます。家屋を建てる時に地鎮祭が行な
われ、土地神様に地面を使わせて頂く
儀式がありますが、災いが起こらない
様に願う気持ちが何処となく現在に繋
がるにも思えます。今年は穏やかで
天候も良い明るい年になりますように。



寒くても枯れない撫子の花

ITテクノロジーで世界は災害を乗り越えられるか？ 産業革命から気温1.6℃急上昇、どうしたらいいか？ 人工知能(AI)より頼りになる人間の共感力

【Windows10:10月14日サポート終了】

Windows10は2025年10月14日にサポートが終了します。サポートが終了するという意味は、新たな機能の追加がなくなるという事です。セキュリティ更新プログラム等が提供されなくなる為、サポート終了後もWindows10を使い続けると、セキュリティ面でトラブルが起こる可能性が高くなるのです。Windows10は「22H2版」が最後のバージョンになるとマイクロソフトが発表しています。現在Windows10をご使用の方で「22H2版」より以前の版をご使用の方は、早めにアップデートされた方が良いので、お奨め致します。

【Windows11へ移行する場合の問題点】

Windows11へアップグレードする場合、現在Windows11の代金は無料で提供されていますが、ある程度のスペックが要求されます。Windows7や8がインストールされていたパソコンはCPU等の部品類が対応できない為不可です。また使用されていたアプリ類がWindows11に対応できなくなる場合も有り、データの移動が不可になります。又まだ報告されていない新たな不具合が生じる場合も有り得ます。

【Windows11へ移行ご希望はお早めに】

Windows11へ移行を希望される場合は時間が必要になります。又、隠れていた問題が出てくる場合も有りますので時間的に余裕を持って計画を立てる事をお奨め致します。

【世界の気温・2024年に1.6℃上昇】

欧州連合(EU)の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」が1月に発表した内容に因れば、2024年の世界の平均気温は産業革命前に比べ1.6度高くなり、2年間連続して史上最も暑い年になってしまったという報告です。2015年に開かれた「COP21」での国際会議では世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて2℃以下に保つ為、1.5℃に抑える努力をする事を目標にパリ協定を採択したのです。しかし現実には世界の平均気温は1.6℃に上昇したのです。日本も猛暑が続いて、野菜・果物は不作で今も高値です。現在世界の各地で豪雨・洪水・熱波・山火事等が続いていますが最近の研究では気温上昇幅が1.5℃と2.0℃とでは被害の程度が全く異なるという事が分かって来たそうです。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)によると、人類が気候に与える影響が無いと仮定した場合に「10年に1回発生する猛暑」は上昇幅が1.5℃では4.1回程度であるが2℃の場合は5~6回に増大するとの事です。気温が上昇すれば水分の蒸発量が増え今迄以上に激しい豪雨が発生して大洪水のリスクが高まって行きます。世界の気温上昇で水床は解けて海水面が上昇し、地表の面積が少なくなって行き地球の姿は大きく変わってしまいます。人類は死活問題を迎えるシナリオを避けなければならぬのですが、自国第一の考えを乗り越えて破壊を食い止める事が出来るのでしょうか？

(1/2)

【メタバースは安心・安全なのか？】

「メタバースで、行政サービスのDX化を支援」という宣伝を見ました。住民と自治体をつなぐ仮想空間の役所として様々な手続き・相談をネットで解決できるという内容です。『利用者はネット環境があればウェブブラウザ経由でアバターを通じて簡単に参加、利用できます。弊社は物理的・心理的・時間的な障壁によって、既存の環境・制度・サービス等の恩恵を享受しづらい人たちに寄り添い、「誰一人取り残さない」デジタル社会と未来の実現を目指します』現代社会は加速度的に変貌しつつあり、目の前に人間が見えなくなって来ます。代わりにアバターというロボットが対応するのです。事前に用意された回答に従って返信する機械から聞こえてくる音声です。しかし予想を越えた困難も起こり得ます。地震はいつ起こるか分からない所が怖いのです。人間はイザという時には、そばにいる人々と助け合って知恵を絞って生き延びてきた、長い進化の歴史があります。大変な時そばに人がいるから安らげる、安心が生まれるのです。安全はある程度、機械で果たせませんが、人間は工業製品ではありません。イザ！という時に働く”直観・機知”が出て共感する生き物です。

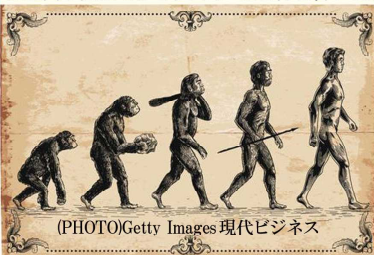


希望のミカンの木

土に返したみかんの子供

【共感力が問題解決する力になる？】

700万年前、ヒトは2本足で歩く進化を遂げて200万年前頃にだんだん大きな脳を持つようになり、40万年前頃に現在の人の大きさ位になったと言われてます。人間の脳を大きく進化させた原動力は何か？、という議論が盛んになっています。森から天敵の多い危険な平原で暮らす様になった人間は身を守り、食べて行く為に家族以外の人々とのお付き合いを広げ、凡そ150人位の集団で暮らしていたようです。現在も存在する狩猟民族も150人位の規模で暮らしていて、現代人も頻繁にお付き合いする人数は凡そ150人位で、年賀状を出す枚数とほぼ同じ位だそうです。人々はお付き合いを通して人の心の動きを確認し



大勢で狩をし、確認する必要等から次第に人と人の間に共感力が大切になって行き結果的に脳が大きくなったのではないかと

と推理されているのです。その後、言葉が発達して人類は飛躍的な進化を遂げていきました。電車内でスマホばかり見ていて周囲の人に余り反応しない姿が目立ちます。仮想空間ばかりにいると、メタバースに支配されてしまいそうで不安になります。